

第三七回 内村鑑三研究会のご案内

次ぎの要領で第三七回研究会を開きますので、ご参集の上、お励ましいただきたく、ご案内申し上げます。

日時 二〇一五年九月二一日（月曜日・祝日） 一四時—一七時

場所 今井館聖書講堂 東京都目黒区中根一—一四—九

（東横線都立大学駅下車七分）

研究報告

南原繁と内村鑑三——時代を追って

山口周三（南原繁研究会幹事・事務局長）

〔発表要旨〕

南原繁は、明治四四年一〇月、内村鑑三の聖書講義に入門し、それから内村の召天まで約二五年の間、熱心に内村の講壇に連なった。本発表は、内村について書いた文章、内村の弟子たちとの交わり等について、時代を追って述べたい。対外的な伝道は行なわなかった南原の信仰の特徴についても話したい。

内村鑑三の政治・社会思想再考——明治期「共和主義」を中心に

柴田真希都（国際基督教大学・学振PD特別研究員）

〔発表要旨〕

本報告は、明治日本の知識人としての内村鑑三の特色を、その政治・社会思想の方面から検討しようとするものである。順序としては、最初に内村の公的言動の歴史の意義を理解する新しい方法や視点の問題を語り、その後、副題に挙げたテーマに即して、主題に迫る具体的な作業を遂行してみたい。

司会 荒井克浩（『内村鑑三研究』編集委員）

会費 一〇〇〇円（学生五〇〇円）（資料代を含む）

主催 『内村鑑三研究』編集委員会

（荒井克浩、大山綱夫、ゾンターク・ミラ、
高木謙次、千葉眞、原島正、柳父圀近）

問い合わせ 荒井克浩

電話 03—3943—3004

